

平成30年度横浜市市民活動支援センター事業の検証結果について (平成30年度単年度事業の事業報告)

1 趣旨

横浜市市民活動支援センター事業要綱第8条第2項の規定により、横浜市市民活動支援センター事業は、市民公益活動を取り巻く状況の変化や市民ニーズを良く捉え、必要かつ効果的な事業を行うため、定期的に事業の検証を行うこととなっています。

このたび、平成31年3月14日開催の横浜市市民協働推進委員会 市民活動支援センター事業部会において、横浜市市民活動支援センター自主事業の評価基準に基づき、事業報告書等の書類及びヒアリングにより、平成30年度横浜市市民活動支援センター自主事業（単年度事業）事業の評価を行いましたので、報告いたします。

2 事業検証の進め方

横浜市市民活動支援センター自主事業の検証は、次のとおり行います。

開催時期 (予定)	委員会/部会 (注)	内容
平成30年 2月	部会	○平成30年度自主事業実施団体の選考 事業提案団体による公開ヒアリングの実施
11月	部会	○平成30年度事業の中間振り返り（運営事業・自主事業） 事業実施団体から事業経過について報告し、団体間及び部会委員との間での意見交換等
12月	委員会	○平成30年度事業の中間振り返り（運営事業・自主事業）についての報告
平成31年 3月	部会	○横浜市市民活動支援センター事業（自主事業・単年度）の評価・検証 事業実施団体から事業報告及び質疑応答、自業の評価・検証を実施
平成31年 3月	委員会	○市民協働推進委員会に事業評価・検証の報告

(注) 委員会：横浜市市民協働推進委員会 部会：市民活動支援センター事業部会

3 横浜市市民協働推進委員会委員

役職	氏名	所属等
部会長	坂口 緑	明治学院大学 社会学部 教授
専門委員	木下 勇	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
専門委員	鈴木やよい	特定非営利活動法人 横浜市民アクト理事
委員	田邊 裕子	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会地域活動部長
専門委員	山根 誠	特定非営利活動法人 親がめ理事長

4 事業評価

総評：当初計画どおりの事業効果があった

主な意見

評価項目	評価の着目点	説明	特記事項	
			評価できる点	改善が望まれる点
事業運営	横浜市市民活動支援センター事業を担う他の団体との協力・連携	横浜市市民活動支援センター事業を担う他の団体（自主事業部門・運営事業部門）と相互に協力・連携が果たされたか。	アクションポート、横浜プランナーズネットワークと企画した第一期目の講座により、多くの団体に注目される講座になったことが評価できる。	市民活動支援センターとの関係を今後も継続していただきたい。
	予算	経費執行が適正であるとともに、経費節減の工夫がなされたか。	ページ数の増えた冊子について紙を変更するなど経費節減の工夫が見られる。	
事業計画	事業内容	事業内容は市民活動のニーズを捉えたものであったか。	今まさにニーズが高まっている課題に正面から向き合う活動である。	不動産を所有する貸主側のもつ懸念を払拭するような活動も今後、ぜひ期待したい。
	事業計画	実施時期や方法が適切で、計画通りに実施されたか。	<ul style="list-style-type: none"> 限られた時間を有効に利用し、第一期、第二期の講座を開催できている。成果物としてのパンフレットの作成も役立つと思われる。交流会の企画についても期待できる。 事業計画書に盛り込まれたことが、期待以上に実現されていると考える。 	
	期待される効果	市民の満足度が高まり、具体的な効果があったか。	横浜市にこのような団体があることが関係各位に伝わったこと自体も大きな意義があると思える。相談会での3件についても、実際のコンサルタントにつながり、意義のある展開だった。	